

令和2年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：35007

学校名：札幌市立西岡中学校

「健やかな体」育成プログラムのポイント

- ◎体力・運動能力の向上に必要な要因（高い意識・豊富な運動量）を高める工夫
- ◎校内の推進体制（プロジェクト）を中心に、体育・食育・健康の各分野が連携・推進し、全教職員が共有する

項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「健やかな身体」の育成に係る目指す子ども像	☆運動に対して興味・関心を持ち、生涯を通じて運動に親しむための基礎を培おうとする意欲的な生徒の育成 ☆自らの心身の健康に興味・関心を持ち、保持増進を図る資質や能力を身につけようと努力する生徒の育成		
「健やかな体」に関する成果や課題	A 体育に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○体育授業準備運動の継続的取り組み ○新体力テストの全学年実施と有効活用 ○単学級体育の実施による運動量の確保 ○スキー学習の充実	【成果】 ⇒筋力の向上に効果あり ⇒自己の記録を把握し、自己評価ができる ⇒ <u>体育館・グラウンドを1学級（40人）で使用</u> ⇒冬期間の運動不足を補えている	【課題】 <input type="checkbox"/> 自ら進んで取り組むという点が課題 <input type="checkbox"/> 男女間の運動能力差 <input type="checkbox"/> 指導者確保が課題
	B 健康に関する指導の充実	【具体的な取組】 ○保健便り等による健康に関する啓蒙活動 ○健康診断・運動器健診結果の情報共有 ○給食便り等による食育に関する啓蒙活動（毎月のお便り配付とHP掲載） ○健康と食生活に関するアンケート実施で集団及び個々の生活習慣の課題について分析	【成果】 ⇒時期や流行に合わせ、最新の情報等を網羅した形で適宜発行されている ⇒年度の初めに「生徒理解」研修会の中で情報共有がなされている ⇒毎月、献立以外に食育に関するコーナーを設け興味・関心を高めることができた ⇒食事の時間・起床時間や朝食の摂取率等、学校全体としての課題を把握することができた	【課題】 <input type="checkbox"/> さらに内容を充実させるとともに、HPに掲載する <input type="checkbox"/> 個々の生徒に対する配慮を強化する必要がある <input type="checkbox"/> HPに掲載するとともに、家庭科の授業でも食育を行う <input type="checkbox"/> 集団の状況把握はできているので、個人指導も試みる
今年度の改善策（取組）の具体的な	取組の最重点	A 体育授業の中で、新体力テストを十分活用することと、単学級での体育館使用を実施する。 B 保健授業（体育科）と食指導（栄養教諭）、健康指導（養護教諭）の連携、サポートを取り入れた健康指導の充実。		
	A 体育に関する指導の充実	○体育授業準備運動の中にサーキットトレーニングを取り入れ、体力各要素の向上を図るとともに、本校の課題である全身持久力向上を目指す ○新体力テストを全学年実施し、記録シートを全員に配付、自己分析したうえで目標シートを作成し、弱点克服に向けた取組を授業内で行う ○1, 2学年でスキー学習を実施し、スキーの楽しさを理解し個人的にスキーに親しむ態度を身に付けさせる。（指導者の確保により、できる限り少人数指導ができるような手だてを施す）		
	B 健康に関する指導の充実	○保健便りや給食便りなどの配布物、掲示物等とHPで、生徒・家庭に対する啓蒙活動を継続実施していく ○保健授業の中で、養護教諭、栄養教諭と連携し、資料の提供やITによるサポート授業などを行い、より専門的な知識の習得を目指す ○年度初めの「生徒理解」研修会で、健康面に配慮すべき生徒について全体把握し、学校での学習活動において適切な配慮を施す		
方法 検証の	各種調査等の活用	○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常の実技テストや観察等） ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査や学校独自の調査結果等を活用 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用		